

「火球の威力」

流星の中でも特に明るいものを「火球」といいます。普通の流星は恒星の明るさで言えば、一等級か0等級程度ですが、-4等級とか-5等級という明るい流星が出現することもあります。そういう流星は、当然もとの塵が大きな粒なわけで、彗星ではなく小惑星帯由来のものが多いと言われています。

数年前の夜に、関東地方一体を謎の閃光が覆いました。私はその時、関越自動車道を運転中でしたが、一瞬景色全体が、昼のように明るくなりました。花火大会かな?と思いました。あとから火球の爆発とわかりました。たった1個の小石ぐらいの流星が、関東一円を昼のように照らすのですから、そのエネルギーの大きさは驚異的です。もっと大きければ、隕石として地上に落下したでしょうが、その火球は大気中で燃え尽きたようです。

しし座流星群は、火球が多く飛ぶことでも有名です。普通の流星(散在流星)は、全天のどこに出現するかわかりませんが、流星群は空の一点(輻射点)から放射状に流星が飛ぶので、そこにカメラを向けておけばいいわけです。しし座流星群の場合、しし座の逆?マークの星の並び(春の大鎌)にカメラを向けて、シャッターを解放にしておけば、火球を撮影できるというわけです。



「しし座流星群の火球」 緑→桃色と変化し、最後に2度爆発しています。(富士山一合目天神峠)
(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)